

令和3年度（令和2年度決算）上板町教育委員会

事業名	文化財保護事業					
事業費 (千円)	1,090	財源	国庫	県費	その他	一般財源等
						1,090
目的	町内に残る文化に対する再評価、文化財保護に対する町民意識の向上、貴重な地域文化の一つである国選定保存技術「阿波藍製造」技術の後継者育成、日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業に取り組む。					
対象・内容等	<p>町内指定文化財の保存・周知、埋蔵文化財の保存（発掘調査・試掘調査・工事立会等）、阿波藍製造技術保存会事業（事業費は阿波藍製造技術者の会費と文化庁補助金のみで成り立っている）、日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業</p> <p>対象は主に町民、阿波藍製造技術者とその後継者（阿波藍製造技術保存会事業）</p>					
実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財修理・防災設備整備 2件(国、県補助金を活用・自己負担有) ・選保藍生産・製造技術者養成研修文化財保存技術（伝承）団体事業（阿波藍製造技術保存会事業、国補助金活用・自己負担有） ・日本遺産「藍のふるさと阿波」魅力発信事業(国補助金・市町負担有) 					
成果等	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね達成 <input type="checkbox"/> やや不十分 <input type="checkbox"/> 不十分	<p>文化財修理は、国指定重要文化財「戸田家住宅」の屋根瓦修理並びに防災設備整備を実施、阿波藍製造は、後継者養成事業・定期刊行物の発行・関連技術の研修を実施し、同技術保存の維持に努めた。令和元年度日本遺産認定の「藍のふるさと阿波」の魅力発信事業として、映像制作と放送、副読本、パンフレット、ストーリーブックの制作、サポーター養成講座を実施した。文化財の活用では、まだ十分ではないので、次年度はその活用をすすめていく。</p>				
次年度以降の 取組み	<input type="checkbox"/> さらに重点化する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえ継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止、廃止を検討する					